

展示概要

ジョージ・クルークシャックは、19世紀末イギリスで活躍した風刺画家・挿絵画家です。19世紀末のイギリスは、産業革命による大規模な移民、その影響の中心を置いたのは、北東部や中部東部、職人などであり形成される中産階級の人々でした。

大衆階級社会に代表される人々、大衆、貧困からなる上流階級にのみ見られた権威や身分意識もあがり、その努力によって中流階級にも可能となりました。

一方、産業の発展がもたらした、貧乏や病気の蔓延はありませんでした。労働者が豊かになり、空想的な生活によって理想が実現。これらが実現しました。

心の中、大衆を嘲ったのが風刺画家です。18世紀のジョージ・ロバートソンといっただ、風刺風刺画家が誕生。19世紀の風刺画家として活躍したのがクルークシャックでした。

クルークシャックの作品とは、子供や若者へもなじみやすく、面白く読める作品です。「The comic almanack」は、1841年創刊から1853年まで出版された挿絵入り、年鑑で、ロンドンに生きる人々の姿が生き生きと描かれています。年鑑は子供一冊をプレゼントし、産業革命時代の様子、ぜひご覧ください。

ジョージ・クルークシャック年鑑

George Cruikshank's Almanack

1720	ロンドンに誕生。
1789	風刺画家で有名な父の死後、ロンドンで印刷業に従事。風刺画家の父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1818	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1820	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1822	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1824	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1826	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1828	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1830	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1832	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1834	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1836	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1838	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1840	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1842	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1844	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1846	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1848	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1850	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1852	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1854	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1856	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1858	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1860	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1862	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1864	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1866	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1868	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。
1870	父の死後、ロンドンで印刷業に従事。



◀ A Swallow at Christmas ▶

1841年12月

画面左に大きく口をあけた男性。遠くから羽をなした鳩が飛走すがその口の中に飛び込んでいきます。画面下にはビールやシャンパンなどのボトルが男性の許に集って、数分でもらえるのを待っているようです。

タイトルの「Swallow」は名詞では「燕」、動詞では「飲み込む」の意味があり、画面上空を飛ぶ燕たちと男性の旺盛な食欲との掛詞となっています。富裕層の飽食を象徴した一枚です。

GEORGE CRUIKSHANK

